

写真は人生を豊かにします。写真を撮たくさん撮りましょう。

写真からその時の気持ち、楽しさ、嬉しさ、忙しさ、音、匂い、風、温度、湿度などの映らないものを大切にして、記憶のために写真を撮りましょう。

写真とは、光を捉える技術。光線の状態を判断することが **Kye**。光を読む技術であり切り取り芸術。いい写真とは、記憶を蘇らすトリガー。更に人に伝われば言うことなし。写真には説明文を付記することが困難、映画のように人に伝えやすくない。自分の人生の宝ものになる。

シャッターチャンスとは、好きなものを撮る。波長の合ったものを撮る。思わず見たものを撮る。感情の敷居を下げて撮る、海外旅行に行ったように日常をたくさん撮る。驚いたら撮る。感激したら撮る。感動したら撮る。美しいと感じたら撮る。美味しかったら撮る。暑いと感じたら撮る。寒いと感じたら撮る。風を感じたら撮る。新鮮なものを見つけたら撮る。心が動いたら撮る。キョロキョロ！ワクワク！

ダメな写真とは、撮影技術を伝えるための写真。3分割構図、流し撮り、前ボケ、スローシャッター。撮影技術を伝えることを目的にした写真。撮影主体にピントがあっていない写真。ブレている写真。素人が避けるべきこと、撮るたびに撮影結果を確認すること。他人に不快感を与えること。撮影しても良いか許可を得る必要があります。

写真以外から写真を学ぶとは、よい映画をみて良かった場面を記憶する、美術館で好きな作品を探す、蚤の市で好きなものを探す。写真以外の仲間に写真の話をし、写真仲間に写真以外の話をしてコミュニケーションを深める。

写真のポイントとは、良い光線の下で撮る、被写体までの距離を読んで撮る、最適なレンズを選ぶ。撮影条件はあまり気にせずたくさん撮る。

人間の目は2つ視界は約200度よく見えるのはせいぜい30度。カメラはレンズは1つ、撮影範囲はレンズの選択でどうにでもなる。人間の目の角度に近い標準レンズは43度。

ピントが全くあっていない写真とブレている写真は修正が困難ですが、デジタル写真は、パソコンに撮影結果データを取り込みその他は修正できる。構図、ピントの微調整、コントラスト、彩度、ホワイトバランス、レンズ補正、モノクロ化。

どんどん取れば良い最大の理由。経費も発生しない。

「うまくてだめのな写真とヘタだけどいい写真」 幡野 広志